

主に関係する 領域・教科	生活単元学習	氏名：徳舛 由紀子
単元名	遠足の準備をしてみよう	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 自分で準備できることを考え、シートに記入したり、行動を振り返ったりする。(思考・判断・表現) シートに従って、実際に準備しようとする。(主体的に学習に向かう態度) 	

授業の説明、単元設定の理由

- ・高等部の段階では、日程等を知り、見通しを持つことはだいたいできているので、生活につながる力となることを意識して単元を設定した。
- ・これまでの取り組みが活かされる内容を取り上げている。
- ・発表の場を設定して、生徒同士のかわりの場や評価（褒められる）の場とした。
- ・自分でできることは家庭でもやってみようとするきっかけ作りの意味もある。

遠足の準備をしてみよう		名前 ()	
レベル	じゅんび 準備すること	できそう○ むずかしそう△	できたよ◎ すこしできた○ むずかしかった△
2	もちもの(おやつ、弁当、水筒、しきもの、ハンカチ、ティッシュ、雨具)をあつめる 		
3	水筒にお茶を入れる 		
1	おやつをえらぶ 		
4	おやつを買う 		
5	お弁当を作る(おにぎり、ごはん) 		
5	お弁当を作る(おかずの一部でも OK) 		
3	お弁当をお弁当箱につめる 		
1	もちものをかばんに入れる 		

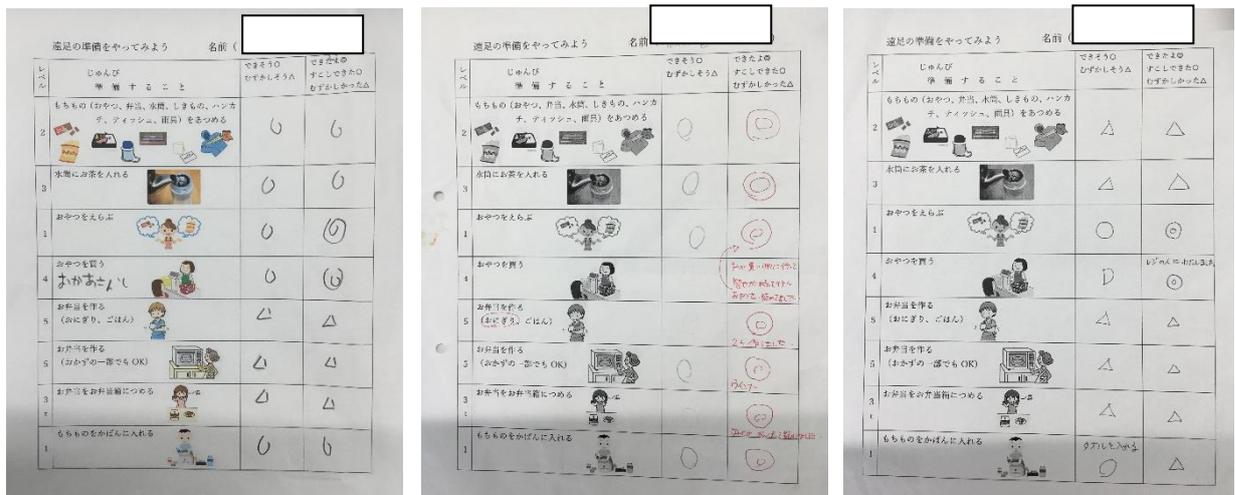
工夫したポイント	使用教材など
<ul style="list-style-type: none"> ・準備することにレベルをつけて、意欲付けや選択のしやすさにつなげた。 ・発表の時は全員に見えるように、プロジェクターで投影したり、アプリ「miyagi Touch」でプリントを撮影し、丸付けをして評価が見えるようにしたりした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ iPad (カメラ、miyagi Touch) ・ PC(Power point) ・ プロジェクター ・ プリント

- ・ <全校遠足の事前学習>
- ・ パワーポイントで自分で準備できること（レベル、内容）を知る
- ・ プリントで「できそう○」「むずかしそう△」をつける
- ・ 印をつけたプリントを撮影し、プロジェクターで投影しながら、発表する

<事後学習>

- ・ 準備ができたかどうかプリントで 振り返りをする （「できたよ◎」「すこしできた○」「むずかしかった△」）
- ・ プリントを撮影し、プロジェクターで投影しながら、発表する

実践



- ・ 事前にできそうなことを考える場面では、「家の人がやってしまうからなあ。」「めんどくさいからしないよ。」「全部やってみる。」などそれぞれのつぶやきが聞かれた。
- ・ 選択が難しい生徒は一緒に考え、部分的にでも参加できるようにした。
- ・ 発表場面では、他の生徒が何に取り組むかに興味をもってみたり発言したりしていた。
- ・ 評価の場面では、全部取り組めた生徒に、「すごいね！」という生徒や拍手をする生徒がいた。

効果・改善点等

- ・ 自分ができそうなことを考えて印をつけている様子が見られた。家の人の協力を得て、実践してきている生徒がほとんどであった。
- ・ 今回の単元で学校だけでは見えてこない生徒の実態を知ることができた。学校生活や家庭生活、強いては社会生活に生きて働く単元作りを意識して考えていきたい。
- ・ 自分で考えて決めて、実行することに意義があり、継続的、計画的な取り組みにしていくとよい。また、他の単元や他の教科との関連も考えて取り組めるとよい。